

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		社会教育施設維持管理事業		担当課	生涯学習スポーツ振興課	担当係	生涯学習係	管理番号	6152	
総合計画	大項目	2	次代を担う人と文化を育むまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	2	誰もが生きがいをもち学ぶことのできるまちづくり		根拠法令 個別計画等	社会教育法第3条（公民館の設置）				
	小項目	1	生涯学習の推進							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		市内公民館の施設の整備や保守、維持管理、修繕を計画的に実施する。								
目的 ※何のために		公民館の施設の安全性を確保、利便性の向上								
対象 ※誰・何を対象に		市内12公民館								
手段 ※どのように		施設の整備や保守、維持管理、修繕								
成果 ※何を求めるか		施設の安全の確保と利用者の利便性の向上が図れる。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	3	公民館費	公民館施設整備維持事業〔生涯学習スポーツ振興課〕	215,963,510
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	3	公民館費	公民館施設整備維持事業〔深谷公民館〕	4,033,944
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	3	公民館費	公民館施設整備維持事業〔藤沢公民館〕	2,311,026
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	3	公民館費	公民館施設整備維持事業〔幅羅公民館〕	9,394,134
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	3	公民館費	公民館施設整備維持事業〔明戸公民館〕	1,534,473
本事業の 主な業務		・市内各公民館の電気料、電話料、上下水道料等の支払い							・	
		・市内各公民館の建物保守、検査、清掃等委託							・	
		・市内各公民館の修繕工事							・	
		・市内各公民館の備品購入							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		・市内各公民館維持管理	・市内各公民館維持管理	・市内各公民館維持管理	・市内各公民館維持管理	・市内各公民館維持管理	・市内各公民館維持管理
事業費	予算（現額）	287,726,000	201,983,000	224,983,460	292,855,100	278,203,000	300,748,000
	決算額	265,797,231	201,093,109	219,030,583	219,673,599	267,522,937	0
	財源内訳	国支出金	695,000	0	0	1,040,000	1,075,000
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	700,000	79,600,000	42,300,000
		他特定財源	24,879,000	23,192,000	23,685,000	26,671,348	25,353,093
		一般財源	240,223,231	177,901,109	194,645,583	112,362,251	198,794,844
人件費	従事職員数（人）	0.84	0.69	0.69	0.70	0.64	0.71
	人件費相当試算※	6,534,360	5,369,580	5,424,090	5,695,200	4,967,626	5,773,257
総事業費試算		272,331,591	206,462,689	224,454,673	225,368,799	272,490,563	306,521,257

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	年間公民館施設維持費	目標値	百万	0	192. 89	192. 89	192. 89	192. 89	192. 89	
		実績値		265. 79	201. 93	219. 03	219. 67	267. 52	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
活動指標 2	年間施設修繕実施件数	目標値	件	50	50	50	50	50	50	
		実績値		85	82	97	122	40	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
活動指標 3	年間施設修繕額	目標値	千円	0	2481	2481	2481	2481	2481	
		実績値		12510. 86	7579. 95	12036. 35	18247. 5	13500. 38	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
成果指標 1	施設の瑕疵による事故発生件数	目標値	件	0	0	0	0	0	0	
		実績値		0	0	0	0	0	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。  
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	公民館の修繕については、利用者の安全確保を目的とし、順次、適正な修繕を行うことができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	施設の瑕疵による事故等の発生件数は0件であった。
			評価者 生涯学習係長 荻塚 文彦

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	公民館の維持管理については、12館の施設法定点検や保守点検等を取りまとめ一括して発注するなど効率化に努めているところである。
			評価者 生涯学習係長 荻塚 文彦

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	社会教育施設維持管理事業	担当課	生涯学習スポーツ振興課	担当係	生涯学習係	管理番号	6152
<div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div> <div><div><input checked="" type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div>							

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	・より効率的な施設運営の手法について検討を行う
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

